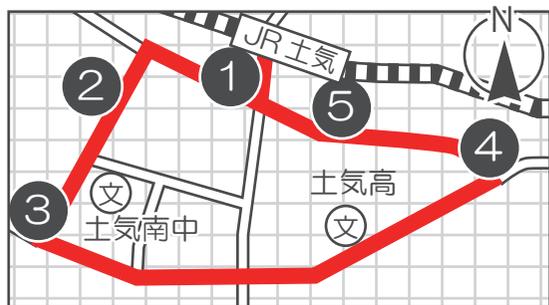


## 市内の街路樹ウォッチング <緑区> 2012年5月9日



緑区は美浜区に次いで、街路樹が多い地区で、千葉市の街路樹の約 1/3 が緑区にある。中でもあすみが丘は千葉市昭和の森に隣接し、広い通りや歩行者専用道路、公園などが評価され、平成4年、国土交通省により「都市景観100選」に選ばれた。

街を南北に通るあすみ大通り、東西に通るあけぼの通り等は、電力・通信などのケーブルが地中化されている。街路樹は伸びやかに育ち、春には新緑と低木のツツジが美しいコントラストを見せる。



①土気駅前 あすみ大通り クスノキ  
「日本の街路樹100選」になっているが、ムクドリの子供には糞の被害がひどい

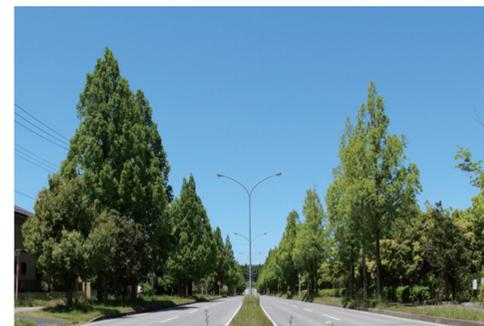
クスノキの根上がりで歩道にはひび割れが



②公園通り カツラ  
根元が乾燥しているのか生育が悪い



③あけぼの通り メタセコイア  
ケーブルが地中化されていて伸びやかに育っている。春は新緑、秋には紅葉が美しい。



④東地区 サクラ  
植栽マスに植えられたアガパンサスが雑草で隠れている(2012年5月撮影) アガパンサスの開花の時期は見事!

⑤とけあい通り プラタナス  
育ちすぎて電線に絡んでしまった



あすみが丘は多くの街路樹が整然と植えられ、それぞれの通りを特徴づけている。また、家々には色とりどりの草花が植えられてとても緑の多い美しい景観の街で、緑に関心を持つ住民が多いと思われた。

今後は、住民たちが自分たちの手で街の緑を守る活動ができるようになると良いのではないだろうか。

